

第 19 回 日本緩和医療薬学会年会 精神科領域シンポジウムのご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、「第 19 回日本医療薬学会年会」において、

精神科領域のシンポジウムを下記の通り開催の運びとなりました。

詳細は、ホームページ(<https://plaza.umin.ac.jp/jpps19/>)をご覧ください。

先生方のご参加を心からお待ち申し上げます。

謹白

記

シンポジウム 18

“生きる力”を支える薬学～地域連携によるナラティブ・アプローチ～

【開催日時】 2026 年 5 月 31 日（日）9:00～10:30

【開催会場】 和歌山県立医科大学薬学部 中講義室 302

【趣旨】

多死社会を迎えるなか、地域では自宅や施設で最期を迎える人が増え、身体的苦痛に加え、不安・抑うつ・せん妄などの精神的苦痛やスピリチュアルペインに対応する包括的支援が求められている。薬剤師には、薬物療法の専門家としてだけでなく、患者や家族の“語り”を尊重し、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の過程に寄り添いながら、多職種と連携してその人らしい生を支える役割が期待される。本シンポジウムでは、地域でのナラティブ・アプローチ実践を通じ、薬剤師が精神科的視点を含めた全人的ケアをどのように展開し、“生きる力”を支えるかを多角的に議論する。

■座長

稲葉一郎（薬局セントラルファーマシー長嶺）、椎 崇（北里大学病院 薬剤部）

■演者

土井信幸（高崎健康福祉大学薬学部 地域医療薬学研究室）

『ACP（advanced care plan）の歴史とエビデンスを再確認』

小見雄介（前橋赤十字病院 薬剤部）

病院の臨床現場におけるナラティブの試み

—患者理解とチームでの共有、そして教育へ—

池田里江子（ふれあい薬局飯能店、（一社）埼玉県薬剤師会、（公社）日本薬剤師会）

AYA 世代の女性 2 者の緩和医療について学んだこと

— 問い合わせ先 —

（一社）所沢市薬剤師会 加藤 剛 (FAX : 04-2922-2934、E-mail : pharm11@kouyukai1968.or.jp)